

登場人物

神山明日香（15）

都内の有名な女子校「表参道女子学園」に通う美人 JK、中学時代はクラスの男子全員に告白されるほどの美貌も持っていてクラス一番の美少女だ。

滝沢日菜子（15）

明日香の幼馴染。彼女にはとある秘密が。その秘密を知っているのは明日香だけ。

北村楓子（15）

二人の幼馴染。トイレでの会話を聞いて二人の秘密を知る。「隠し事はしない」の約束に従い日菜子が打ち明けこの世界に入りこんだ。

前回のあらすじ

神山明日香が滝沢日菜子に紹介した「聖水クラブ」というアプリ。それは聖水を男の人に飲ませることでお金を稼げるアプリで……。早速登録した日菜子は一瞬で人気者に。さあ二人の聖水ライフはこの先どうなるのか……。

※前回の続きですので未購入の方は購入をお勧めしますよ。

第一章 魔法のボトル

利尿剤を飲んで2回のプレイをした日、帰りがけにおしゃれなボトルを1本、受付嬢から渡された。そしてボトルと一緒に渡された紙にはこう書いてあった。

「このボトルは中の液体を人肌に保温し、菌の増殖を抑える効果がある特殊なボトルです。これからはおしっこをするときはこのボトルにしましょう。やり方は簡単、赤いラインのところまでおしっこを入れるだけ。その後は中に同封されている白い袋のひもを引っ張ってください。白い袋は保温材です。ひもを引っ張ると温まり、人肌の状態を保ってくれます。あとは飲ませ子プレイのためにビルに来た際や仕事や学校に行く途中にビルに立ち寄り受付嬢にお渡しください。保温ショーケースの中で人肌に温めて販売いたします。1本売れるごとに3000円をお渡しいたします。」

「そういうことなのね。もし売れたら次回から何本ももらいましょう。」と明日香。

その日の朝、明日香は早速このボトルにおしっこをすることにした。

ジョボボボボボボボボボ

ボトルの中におしっこが溜まっていく。あっという間に赤い線のところまでおしっこがたまった。

「保温材！？これのことね。」明日香はひもを引っ張りおしっこの入ったボトルに入れた。

「これで完了？じゃあ表参道のアプリ会社のビルに持って行ってから登校するか。」そして明日香は

「もしかして今の話聞いてたの？」と明日香。

「うん、最初から最後まで全部、それで秘密って何？教えて。私には隠し事はしないってお約束でしょ！」と楓子。

「そ、そうだったわよね・・・。」と日菜子。

二人はボトル片手にトイレを出た。

「何それ！何なのよ！何をしたらそんなことができるのよ！！」楓子はすこし怒っていた。

「じ、実は・・・。」日菜子は聖水クラブのことについてすべてを打ち明けた。

「で、そのボトルは？」と楓子。

「ボトラー制度って言ってこのボトルにおしっこをして保温材を入れて受付に持っていくの。売れたら3000円がもらえるの。」と明日香。

「何それ！！！！」と楓子

「お、怒ってる？」と日菜子。

「そ、そうよね。もうこんなことやめるわ。」と明日香。

「いや、そんな稼ぎ方があったなんて驚きだわ、だって、おしっこを飲ませると5000円、おしっこボトルが売れると3000円が稼げるんでしょ。私も飲ませ子になりたい！！ねえ、アプリの会員登録するからやり方教えてよ。」と楓子。

「いいわ！飲ませ子の世界にようこそ！！」と日菜子。

「私も歓迎するわ！！」と明日香。

お試し版はここまで。フルバージョンは製品版をご購入ください